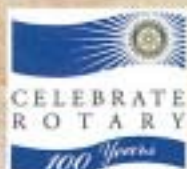


## 米山梅吉記念館 館報

2004  
(平成16年)

秋

Vol. 4



## ポール・ハリス来日

1935 (昭和10年) 東京



鹿島精一氏 小林雅一氏

宮本常次郎氏 米山梅吉翁 ポール・ハリス氏 徳川家達氏 斎藤 実氏 ボブ・ヒル氏

1935年、フィリピンのマニラで開催される第5回太平洋地域大会に参加する途中、ポール・ハリス夫妻が日本に立ち寄った。荒天のため当初の予定より遅れたが、ロータリークラブ生みの親ポール・ハリスの来日とあって、日本側は出来る限りの礼をつくして一行を歓待した。

このとき、初めて米山梅吉とポール・ハリスは顔を会わせた。福島喜三次に誘われてダラスロータリークラブに参加して以来、フェローシップをもとに集うロータリークラブを日本にも作りたいと思いつけた米山が、その夢を実現し東京ロータリークラブが誕生したのが1920年。初めて対面した両者であったが、奇しくも海を隔てて同じ年に生まれ、ロータリークラブを通じて会した二人には、言葉では到底言い表せないほどの思いがお互いの心の中に湧きあがったであろうと察せられる。

ポールは来日の記念に月桂樹の植樹を行なったが、この木を挿し木にした2代目の月桂樹が、現在も米山梅吉記念館の庭で私たちを見守っている。



財団法人 米山梅吉記念館



## 館報第4号発行に際して

理事長 内藤成雄

記録破りの真夏日連続の夏でした。しかも各地に集中豪雨の被害、台風の影響等々、おぞましいニュースばかりでしたが、僅かアテネオリンピックの明るいニュース、日本勢の活躍がたのもしく、この地球の大運動会が心を癒してくれました。お変わりありませんか。

米山梅吉記念館もおかげさまで順調な歩みを続けており、9月の館創立35周年の記念行事の準備に忙殺されており、中でも大淵信先生の特刊講演と35周年記念誌出版は目玉となりそうです。

記念誌は井口賢明委員長の下で大体の構想が決まり、単なる報告誌でなく米山翁の業績ごと日本ロータリーの献納の黎明期、知られざる逸話を更に発掘し、今までのものに乗せできる米山翁研究史にと意欲を燃やしています。日本ロータリー創生牌、米山梅吉と福島喜三次河氏の出会い(大正7年1918)から数々の交遊を、文録や資料により決定版に近く井口委員長が書かれております。

米山梅吉という偉大な人は日本の財界、教育界、社会奉仕の世界で実に偉く、調べていけばいくほど新発見が見られて驚きます。案外知られていない米山翁の富士山気象観測史上の偉業を載せた話などぞれです。富士山頂にあった気象台の偉業を予知するための気象観測所の歴史は明治28年、野中朝一、千代子夫妻の私設観測所建設に始まります。その後10数年の中断を経て気象台の佐藤一技師が活躍します。この人は、山階宮のスポンサーを得て明治40年頃に故山に気象観測所を作って所長になります。常にこの富士山頂施設を国の施設として運動した人です。遂に報いられて昭和7年頃の観測所が

建設されます。国の予算がついた本格的な観測所はここからです。これが昭和29年の富士山レーダードームに引き継がれていらい35年経ち、平成10年、衛星にその役目を譲り引退します。そのドームは今山梨県富士吉田市に隣接されて歴史館となつて復元しております。



富士吉田市に完成した富士山レーダードーム館  
この長い歴史をつないだ功績に三井物産米山理事長の奉仕があるのです。というのには昭和7年に建設された山頂の観測所は、至8年に予算が打ち切れ停止の運命に立ちいらたり。この時米山理事長のおかげで三井物産の補助が決まり、国の予算再開の昭和12年までの毎年の運営が可能になったのです。こんなことは米山梅吉物語の中でもあまり知られていないことなので書かせて貰いました。

全国のロータリアンにお願いした1年1人100円募金運動は、おかげさまで2003(7月)～2004(6月)で4,875,807円を頂くことができました。運営の大きな力となっておりますこと、御報告を厚く御礼申し上げます。今後共何卒よろしくお願い申し上げます。

いよいよ秋の行楽シーズンが始まります。ご来館を心からお待ちしております。  
館報第4号をお届けいたします。

## 米山梅吉記念館と富士山へどうぞ

常務理事 伊藤文平

去る8月21日、酷暑の続く中、今年度の理事、評議員会が開かれました。館運営の財政収入のほとんどは次の3つの寄付金によってまかなわれています。

- ① 全国ロータリアン1年1人100円募金
- ② 全国ロータリークラブの周年記念等や業態者のスマイル等
- ③ 2620地区(山梨・静岡) 2590地区(横浜・川崎) 2780地区(神奈川県)よりの寄付金

の3つが各々約500万円づつで収入の90%を占めています。特に1人100円の細い糸が全国を結ぶと「羅網」にも書いてありますが、今や太い絆となっております。会員1人当りの金額で50円を超える地区は多い順に2530(姫島) 2620(深城) 2640(大阪南都・和歌山) 2680(兵庫) 2720(熊本・大分) 2620(山梨・静岡) 2520(岩手・宮城) 7地区となり実に全国規模の広範な支持を頂いており、光栄の至りです。

館の創立35周年の今年度はRIの100周年を祝い記念すべき年です。当館2620地区としては100周年記念事業として富士山環境美化事業を行っております。もともとこの地区は「富士山を世界遺産に」という運動を起そうと考えていた時期もありましたが、あまりにも開催され過ぎていくことと、あまりにも汚してしまつたこととの二つをクリアしなければならぬとわかりました。米山梅吉翁が昭和8年の富士山頂の気象観測所の廃止に、三井物産として待ったをかけた。存続させたことも明かとなりました。米山梅吉翁が館への来館を全国のロータリアンに呼びかけると共に、世界遺産に指定されない富士山の現状を知って頂くために、静岡・山梨へお出掛け下さい。当館の理事長の内藤PGは、「富士こぶしの会」の会長として富士山の自然を守る運動に永くかかわっています。普通の観光では見えない富士山のありのままを、ご案内できるとおもいます。

## RI2620地区

### 米山梅吉記念館委員会から

委員長 三枝徳造

米山梅吉記念館は、お陰で本年9月創立35周年を迎えました。記念館は、全国のロータリアン、その関係者を受け入れる日本での唯一の施設であります。この施設の円滑なる運営に関係者一同皆様の協力をお願いいたします。その使命を果たすべく理事長を中心に努力を精進しているところであります。この間、施設及びロータリー文庫の展示等の充実、社名をすべくきとの強い要望もあって、平成10年新館が建設され、組織も全国規模に拡大いたしました。また、平成14年11月ピチヤイRI会長の公式訪問を機に全国ロータリアンの意識も一層高まり、全国各地からの来館者が増加いたしました。

記念館と最も深い関係にあるRI2620地区(静岡・山梨)は、記念館の円滑な運営を支援するため、地区組織として地区ガバナリーの委員の運営委員24名を選任し、理事長と密接な連携のもと、記念館運営及び各種事業、特に、①記念館に来訪される方々の接待、解説等の情報提供及び来訪者の誘致活動、②記念館存続例案、秋季例祭(創立記念)の企画、立案、開催、③全国RCへの記念館インフォメーションの作成、推進及び情報誌「米山梅吉記念館」の年2回発行等に支援活動を行っております。

本年は記念館創立35周年記念の年であり、秋季例祭(創立記念)は特別記念行事として行うこととし、運営委員会が創立35周年実行委員会となり、記念式典及び特別記念講演の開催、更には記念行事として創立35周年記念誌の編集に取り組みしております。

申し上げるまでもなく記念館は財団法人であり、善意の寄附によりその運営に当たっておりますが、資金面で執行部は大変ご苦勞をされ、「100円の細い糸が記念館と全国を結ぶ」を合い言葉に「全国1人年間100円募金運動」を展開し、毎年ロータリアン各位にご協力いただくようお願いしております。運営委員会も記念館の健全な運営を両面から支援しております。ロータリアンの皆様、どうぞ米山記念館に特段の善意をお寄せください。皆様の記念館です。ぜひご来館いただくことを、関係者一同心よりお待ちしております。



鼠類に悩む浜田農村の救済、村起こし、ハンセン氏病、新結核療法、教育制度の奨励、努力限りありません。先生は単に物品を寄付されるだけでなく、実際に足を運び、当時の不当な強い愛を受けていたハンセン病患者や、農村の子どもたちとも直に接し、心のぬれ合いを大事にしています。日と日、手と手を合わせる事これ



長泉町いずみ公園にある銅像

日本が軍国主義に傾き、第二次大戦に向かうにつづる時、青山学院も或る危機的状況を迎えていました。評議会会長、理事として精神面、経済面で青山学院の責任を負っていた米山先生が本多甫一先生の精神を継承し、青山学院を立て直す人材として、青山学院の意思ではないという反対があったにも関わらず招聘しただが菅森朝通でした。父も多くの困難を予測しながら、数えてその要請を受諾しました。それほどまでに信頼を寄せていた人徳関係の一つの証です。「人は外の顔かたちを（外的条件）見、主（神）は心を（内面的、人物）見る」との聖書の言葉を同じ目標に立つ両者は受け止めていました。

#### 本多甫一 ― 青山学院 ― 米山梅吉

そもそも米山先生が青山学院と関係を持つ様になったのは本多甫一先生並びに伊田田巴先生との出会いにありました。米山先生は若い時から新しい日本を拓く大志を抱いていましたが、沼津中学から上京したのは、自由民権運動を提唱し、教育面、社会面、政治面、宗表面と幅広い活躍をしていた本多甫一に感服するためであったことはよく知られている通りです。米山のため

二年ほどでしたが、本多先生、並びに英語を指導してくれた、アメリカ帰りの懐れの伊田田先生との人的なぬれ合いを一生の宝とし、恩返しとして青山学院のためにも熱心誠意尽くされました。伊田田巴先生とは一生を通じての深い親交を持ちましたが、尊敬してやまない本多甫一先生との直感的なぬれ合いは、そんなに頻繁では無かったとのことですが、物別時期は少ななくても、重要な人生のターニング・ポイントでのぬれ合いが決定的影響を与えました。心と心の響き相いです。

有名なエピソードはアメリカ留学時代、サンフランシスコの日系教会での出来事です。たまたま訪れた本多先生がそこでややかいかいになっていた若き米山先生に「巧経様、即ち巧みなれど強く、慧なれど速くと、事を急がず、よく考えてフランスよく進みなさい」と教えられたことがあります。実行と決断に急ぎ過ぎる傾向を諭されたわけですが、米山先生はこの言葉を一生忘れませんでした。サンフランシスコでは宣教師ハリス先生との出会いもありました。同師の感化でこの地で洗礼を受けた様です。そして「人にしてほしい」とは人にもそうしなさい」との聖書の黄金律を教えられます。この言葉こそ、日本に米山先生が説くロータリークラブの会費モットーでもあったのです。現代風に云うならば、自分のことの様に人々のニーズに込めなさいという事です。米山先生は三井物産会、ロータリークラブを通じ、また私財を投じて人々のために尽くしました。先生にとつて、それは世間に対する感謝でした。米山先生は人は自分の仕事をなすべしと述べています。それを実践されたわけですが、華社とは、高みから何かをしてあげることではなく、喜びを分かち合うこと、人格的暖かいぬれ合いを持つ事です。先生は自分は熱心な信印者ではないと謙遜していますが実はそこに本当の信仰がにじみ出、神と人に喜ばれるよい業を為されたのだと思います。

本多先生は、未来に成す最大の遺産は幼子、青少年の教育で有るとの事を述べていますが、それを米山先生が受け継ぎ実践したのが、私財を捧げて青山学院に寄附した創設開校初期、小学校でした。そこで学び得た私も幸せだったと思っています。幼稚園、小学校の足ももも「人にしてほしい事は人にもしなさい」でした。米山先生は立派な経済人、社会福祉家、教育者でありましたが、それよりも、なによりも、心と心のぬれ合い、心の目でしっかり人々や事柄を観、自分も人から観られることを載せて下さった方だったと思います。

## 記念誌編集集

### 余話

#### (1)

沼津北RC 井口 賢明

## ポール・ハリスの来日 及びハリスと米山の胸像

資料を調べていると、さもないことだが、これはという面白いことぶつがある。昭和10年2月9日にポール・ハリスが日本にきた。当初の予定では、2月6日から9日まで日本に滞在するという知り知らせであった。日本では、これにあわせて歓迎の準備をしていた。ところが、嵐で船が遅れに遅れ、横浜港についたのは2月9日の朝5時であった。当初予定の歓迎の準備は、すべてご破算。遅くなった日曜の中で、ささしいばかりの歓迎行事が行われた。

ここで問題にしようとするもの一つは、東京での歓迎行事のあと一行が関西に向かったのは汽車なのか、乗船してきたブレンダント・ターリッジ号なのかである。どうでもいいといえば、どうでもいいことである。目にする大部分の文章は、横浜港から船で神戸に向かい、船中で一泊し、京都、大阪の歓迎行事に参加したというものである。山原謙博氏の文章は、「その夜のうちに汽車で京都へ、ついで大阪で歓迎会を受け、（ロータリーの友誼は、的）、となった。英文「東京ロータリーの歴史」は、汽車に乗るため、東京駅に急いだとあるが、それが横浜までか京籠までかわからない。

最近、インターネットで、田中頼氏の「ポール・ハリスの来日」という文章を見た。これには、「この夜、米山記念館の資料の中から、その詳細な記録が見つかりました……」とある。問題の部分が「午後9時30分、京都駅、京都ホテルで朝食。車で京都国道を走り、新大阪がナカへ。午後1時より、京阪神3RC連合の歓迎会に参加」とある。

これを見て、まず前記の部分でびくつきしてしまった。この10ヶ月間所によつて、記念館の資料部に入り、資料にあたってはいたが、ついでそのような資料を見たことがなかった。まだまだ資料のあたり方ができてい

ないが担保たる思いであった。それがどこにあるか事動員に聞いてもわからぬというので、記念館の職員でもある田中氏に確認してもらった。

その結果、その資料は、ガリ版刷りの「日本ロータリー史（7）」であることがわかった。なるほどそのとおりの文章となっている。これまで、ガリ版刷りのことについて、ロータリー日本五十年史を執筆するために編集者が原簿的な資料として作成したものであると理解してきた。ところが、集刊された五十年史では、多くのものと同じように横浜から船で神戸に向かったことになっている。これには頭を捻えてしまった。当初の汽車で行ったという内容が、後に船で行ったという確実な資料でも出てきて変更したというのであろうか。

何が確定する方法はないか。新聞報道ではどうなっているかと地元の高橋通で新聞の縮刷版を見つけた。東京朝日新聞昭和10年2月10日の夕刊に、ポール・ハリス来日の記事が出ている。問題の部分については、「午後9時半東京駅発」というだけである。これだと先のように、横浜駅で降り横浜港で船に乗ったのか、それともそのまま京都まで行ったのかかわからない。

ほぼ2ヶ月前の丹波トンネル開通後の別冊時刻表によれば、東京駅を午後9時30分に出る神戸行きの一、二等客車の急行列車があった。これは、10時丁度には横浜駅着、30分後、京都駅には翌朝7時50分に着く（ちなみに、市津駅は午後11時55分着、幸時01分着）。

女子供を含む二十名前後の一行が横浜で汽車から船に乗り換えるのは大騒ぎである。船時間ではできない。わざわざ速度の遅い船に乗り換える必要があるのだから、一行のためだけに、船の出帆を延ばして、この10ヶ月間所によつて、記念館の資料部に入り、資料にあたってはいたが、ついでそのような資料を見たことがなかった。まだまだ資料のあたり方ができてい

## 文芸 館展示品

### 起る米國

大正7年(丑)出版

大正5年、総理大臣の勅命により男爵日賀田種太郎以下8名が、第一次世界大戦後の好景氣に沸くアメリカに政府特派財政経済委員として派遣された。米山梅吉は民間人としてただ一人このメンバーに選ばれ、アメリカの現状を目の当たりにした。この本は、梅吉が帰国後に行なった講演をまとめたものである。

この時代アメリカは「最後の力のオオンスまで」と國家國民をあげて戦争に臨み、国のため非個人のためという姿勢で邁進していた。日清戦争後は、それまでの東方の別天地という日本に対する見方も一変し、欧米と同等の文明國とみなされ、日本の出兵も熱烈されていた。

90年近く時を経て日本に課せられた習題が現実となり、今なお世界の中心に立つ米國とそれに追従している日本の現状を、梅吉が見ていたらなんと感ずるであろうか。



### 寄せ書き帳



梅吉翁は幼少のころから文学少年で、アメリカから帰国時には新聞記者になろうと思っていた。漢詩、和歌、俳句をたしなみ歌集も何冊か出している。この寄せ書き帳は大正10年、友人たちが集まって書いたものと思われる。寄せ書きしているメンバーは、米山梅吉をはじめアメリカに渡る前からの知り合いである海津麗水(小説家)、藤谷小波(小説家)、和田宗伴(画家)、入沢蓮吉(医師)、随筆家ら。



「梅吉さんでどんな人？」見學に来た小学生も興味津々

忙しい仕事の傍ら趣味の世界を楽しむ梅吉の交友関係の広さが窺える。各人が白画像と自作の俳句や漢詩を載せている。梅吉は白画像と共に吉武梅新武場春一郎に舟を以ている。この画像には「一月一舟トリスに人のよきあり」の一句も載る。

学芸員 市川真理

版の航行行事に間に合わない、このことを考えると、汽船でそのまま開国に向かっていったというのが正しいであろうと思った。

その後、ロータリー文庫で、'PEREGRINATIONS (副題) VOLUME II'を開発して、このことを確定した。これは、ポール・ハリス自身の旅行記で、この日本訪問のことも記されている。これには、『朝刊』が掲げた京都市内を観光し、大阪に向かった。大坂での歓迎会、観光の後、自動車で神戸に向かい、「ここで再びプレジデント・タワーに下船した数回から直接神戸に向かっていた。」とある。



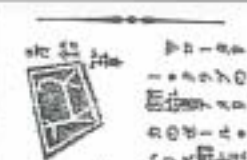
「この旅行記は、1909年2月9日にロンドンで出版された。『ロータリー・クラブの創始者アメリカのポール・ハリス博士はマニラの東洋ロータリー大会に出発する途中8日横濱入港の予定だったが船が1日遅れて9日になった。……、ご主人より一足先に、ひよっこハリス博士の御像が日本に出来あがった。……、11月11日ロンドンで出版された。……、そのアルバムを寄せてきたので御覧になってあげたい。……、ハリス博士には向よりプレゼントであるというので、……、大坂のロータリー・クラブに送り、そこで得意になって贈呈する予定。」とあり、その御像の写真も載せてある。

もう一つ、先の新報記事の附日、昭和10年2月9日の朝刊のコラム欄に、こんな記事が出た。「ロータリー・クラブの創始者アメリカのポール・ハリス博士はマニラの東洋ロータリー大会に出発する途中8日横濱入港の予定だったが船が1日遅れて9日になった。……、ご主人より一足先に、ひよっこハリス博士の御像が日本に出来あがった。……、11月11日ロンドンで出版された。……、そのアルバムを寄せてきたので御覧になってあげたい。……、ハリス博士には向よりプレゼントであるというので、……、大坂のロータリー・クラブに送り、そこで得意になって贈呈する予定。」とあり、その御像の写真も載せてある。

ポール・ハリス未日の折、大坂でその御像が贈られたことは、多くの資料にでている。先のポール・ハリスの旅行記にもある。この記事により、そのいきさつ

がわかったというものである。ところで、このポール・ハリスの御像のことや米山の御像のことも(ポール・ハリスの友 早2012 前記旅行記)などについて、興味深い文章がある。一つは、父君がこの御像を作ったという盛岡公蔵氏の「ポール・ハリス博覧会」(ロータリーの友 早2012.08)、もう一つは、秋山一氏が「P・ハリス、米山梅吉西氏の御像」(ロータリーの友 早2012.06)である(ただし、その情報は、盛岡氏からのものである)。

この文章のなかに、米日の御贈られた御像は、ポール・ハリスが未日したとき写像を贈り、それにより贈ったという部分がある。これは、先の新報記事の内容



「この旅行記は、1909年2月9日にロンドンで出版された。……、そのアルバムを寄せてきたので御覧になってあげたい。……、ハリス博士には向よりプレゼントであるというので、……、大坂のロータリー・クラブに送り、そこで得意になって贈呈する予定。」とあり、その御像の写真も載せてある。

昭和10年2月9日 東京毎日朝刊

容と翻勝する。また、ポール・ハリスの旅行記のなかにも、「大坂の建造会で自分の御像をみてびびくりましたが、数ヶ月前、ニューヨークで、米山のリタエイトにより、日本人アーティストの御像の写真のモデルとなったことを思い出した」とある。多分、この点に限って言えば、盛岡氏が父君の記憶違いであろう。もちろん、盛岡氏の父君がポール・ハリス未日の折、御像作成のための写真を新たに撮影し、これに基づき新たな御像を作ったかどうかは別のことである。

なお、盛岡氏の文章によれば、米日の御贈られた御像は、ウォーリングダフフォードのポール・ハリス記念館にあり、その後下部には、「ポール・ハリスの日本滞米訪問の記念として愛を以てこの像を贈る。神戸・京都・大阪・東京・横浜ロータリー・クラブ、一九三五

年二月九日」と刻まれているという。ちなみに、米山梅吉記念館には、同様のポール・ハリス及び米山の御像がおかれている。

餅米山梅吉記念館 組織表

餅米山梅吉記念館 組織表. Table with columns for various committees: 評議員, 理事, 常務理事, 常務理事, 総務, 文庫委員会, 顕彰委員会, 運営委員会, etc.

功労者顕彰規定一部改訂

去る8月21日行われた16年度定例理事・評議員会に於て、下記のように改訂。9月1日施行となりました。主要部分(抜粋)を掲載いたします。

功労者顕彰規定一部改訂. Table with 3 columns: 功労者の目的, 功労者の条件, 功労者の選定方法. Contains detailed rules for honoring有功者.

100円の細い糸が館と金庫を結び

全国1人年間100円募金運動

全国ロータリアンに向けて

引続き展開中の運動です。既にご送金いただいた個人、クラブ、地区も相当ありますが、この運動は当分の間、事業費の不足をおさためには毎年継続して行っております。クラブ単位、地区単位でご送金いただく方が使用ですが、勿論個人でも結構です。この運動も任意のご意志によりお願いしております。何卒よろしくお願いたします。

お申し込み、届込先 (100円募金) 事業費振込先
郵便振替口座 番号 00820-4-57730
財団法人 米山梅吉記念館

全国100円募金地区別表

全国100円募金地区別表. Table with columns: 地区, RC数, 人口, 地区RC数, 地区名. Lists 100 Yen fund-raising statistics by region.

賛助会費ご協力をお願い

館運営及び事業費の一部にあてるため、自主的な意志により引続き賛助会員による賛助会費の募集を続けております。会費は、お一人年3,000円(1口)です。個人でもクラブ単位でも結構です。何卒よろしくお願いたします。

お申し込み、届込先 賛助会費振込先
新田銀行 下土狩支店 普通 0367508
餅米山梅吉記念館 理事長 内藤成雄

餅米山梅吉記念館

引続き展開中の運動です。既にご送金いただいた個人、クラブ、地区も相当ありますが、この運動は当分の間、事業費の不足をおさためには毎年継続して行っております。クラブ単位、地区単位でご送金いただく方が使用ですが、勿論個人でも結構です。この運動も任意のご意志によりお願いしております。何卒よろしくお願いたします。

お申し込み、届込先 (100円募金) 事業費振込先
郵便振替口座 番号 00820-4-57730
財団法人 米山梅吉記念館

全国100円募金地区別表

全国100円募金地区別表. Table with columns: 地区, RC数, 人口, 地区RC数, 地区名. Lists 100 Yen fund-raising statistics by region.

賛助会費ご協力をお願い

館運営及び事業費の一部にあてるため、自主的な意志により引続き賛助会員による賛助会費の募集を続けております。会費は、お一人年3,000円(1口)です。個人でもクラブ単位でも結構です。何卒よろしくお願いたします。

お申し込み、届込先 賛助会費振込先
新田銀行 下土狩支店 普通 0367508
餅米山梅吉記念館 理事長 内藤成雄

## 記念誌の頒布について

### お知らせ

米山梅吉記念館では、現在創立35周年の事業として、記念誌の発行を準備しています。B5版横組みで、内容としては、「米山梅吉 その生い立ちと人となり」「米山梅吉 そのロータリーとのかかわり」「米山梅吉記念館の歴史」これに「資料」を予定しています。発刊予定は、本年12月末で、予定価格は、2,500円です。ご予約を受付けます。お申し込み、お問い合わせは米山梅吉記念館事務局まで。

### 米山梅吉記念館のご案内

#### 開館時間

午前10時～午後5時（但し11月～3月は  
午後4時まで）

#### 休館日

- 月曜日
- 12月28日～1月4日
- 整理のための休館日



米山記念館及び館報へのご意見、ご感想、寄稿等お寄せ下さい。

### 米山梅吉記念館報

Vol. 4

発行日 平成16年9月18日  
 発行者 財団法人 米山梅吉記念館 理事長 内藤成雄  
 〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1  
 TEL (055) 986-2946 FAX (055) 989-5101  
 印刷 フタバ印刷株式会社